



町ぐるみで子どもを育てよう

いの町地域ぐるみ教育

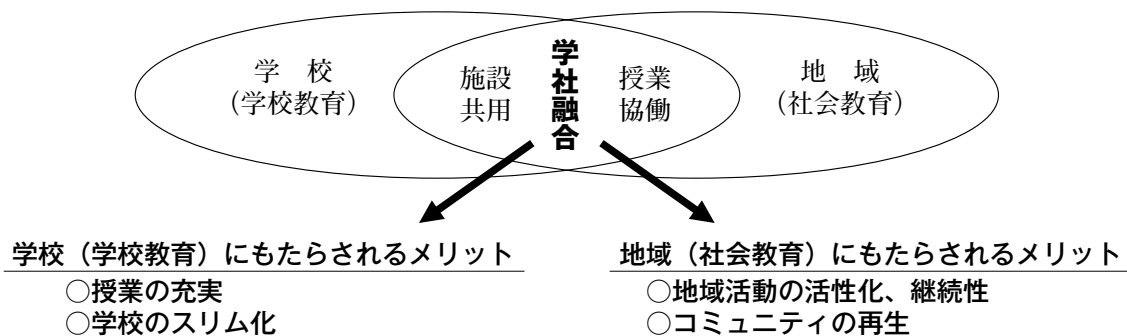
いの町の教育改革！これからは「学社融合」を推進します！

高知県教育委員会が進める「土佐の教育改革」も今年で10年目を迎えます。いの町でも、基礎学力の向上や分かる授業づくりの研究を進める一方、「食育」「テレビとの関わり方」から見た「基本的生活習慣の定着」の取り組みや、子どもたちの自然体験や交流を目的とした「いのっ子あつまれ！」事業など、地域ぐるみ教育に取り組んできました。また、各学校区では「開かれた学校づくり」の取り組みを継続してきました。

本年度からは、これまで進めてきた「開かれた学校づくり」の成果を踏まえ、さらに地域に根ざした学校づくりを進めるため「学社融合」を推進していきます。

学社融合とは・・・

平たく言えば、「学校の活動」と「地域の活動」を重ね合わせること。



これまで、「学社連携」や「開かれた学校づくり」の取り組みが進められてきましたが、「学社融合」は、それらの学校と地域の関わりを一歩進めた形といえることができます。上図のように学校(教育)にも、地域(社会教育)にもメリットが生まれる点が特徴でもあります。

具体的には・・・

学校のクラブの時間に
地域の人もいっしょに参加

おじいちゃん
将棋強いね。

子どもに
元気を
もらえるねえ。



音楽サークルが学校を会場に
ミニコンサートを開催し、
音楽の授業では生演奏を

子どもの
観客が
いっぱい
うれしいわ。



これが本物の
演奏かあ。
わたしも
やりたいわ。



やっぱり
生の演奏が
一番ね。

コミュニティの場を、
放課後の子どもの居場所
として活用

子どもに
何かを教える
場はないかな。

安心できる
子どもの居場所が
あってうれしいわ。



いろんな
体験が
できて
うれしいな。

学社融合が進むと・・・

- 学校と地域社会が協働して地域の子どもの育てようとする機運が高まります。
- 子どもがさまざまな体験をしたり、人との交流を深めることができます。
- 生涯学習の活性化や地域コミュニティの拡大につながります。